

11. 選奨土木遺産一覧

平成 13 年度	遺産名	所在地	建設年
北海道地区	函館市の水道施設群 ・元町配水場 ・笹流ダム	北海道函館市 北海道函館市	明治 22 年 大正 12 年
東北地区	大湊第一水源地堰堤	青森県むつ市	明治 43 年
関東地区	丸沼ダム 五ヶ門樋	群馬県片品村 埼玉県庄和町	昭和 12 年 明治 25 年
中部地区	美濃橋 小牧ダム	岐阜県美濃市 富山県庄川町	大正 5 年 昭和 5 年
関西地区	琵琶湖疎水の発電施設群 ・蹴上発電所 ・夷川発電所 ・墨染発電所	京都府京都市 京都府京都市 京都府京都市	明治 45 年 大正 3 年 大正 3 年
中国地区	惣郷川橋梁	山口県阿武町	昭和 7 年
四国地区	芸予要塞・小島砲台跡	愛媛県今治市	明治 33 年
西部地区	三角西港	熊本県三角町	明治 20 年
平成 14 年度	遺産名	所在地	竣工年
北海道地区	旭橋 (日本を代表する大型のバランスト型のタイドアーチ橋)	北海道旭川市	昭和 7 年
	石狩川生振捷水路 (わが国を代表する捷水路事業によって生み出された親水空間)	北海道石狩市	昭和 6 年
東北地区	達曽部川橋梁, 宮守川橋梁－釜石線－ (東北地方で最も親しまれている鉄道用 RC アーチ橋) ・達曽部川橋梁 ・宮守川橋梁 安積疎水関連施設	岩手県宮守村 岩手県宮守村	昭和 18 年 昭和 18 年

	(ファン・ドールンによる安積疏水事業を物語る大型可動堰と水路) ・疏水水路 ・沼上発電所余水路 ・十六福水門 ・丸守発電所	郡山市・猪苗代町 郡山市 河東町・猪苗代町 郡山市	明治 15 年 明治 32 年 大正 3 年 大正 10 年
関東地区	万代橋 (技術・意匠とも当時の最高水準で造られた名橋) 晩翠橋 (わが国に 2 例しかないブレーストリブ・タイプのバランスト・アーチ)	新潟県新潟市 栃木県黒磯市・那須町	昭和 4 年 昭和 7 年
中部地区	中高武設計の RC ローゼ桁群 (中島武技師によって造り出され、戦前戦後を通じて長野県下で量産された RC ローゼ桁の中で現存している戦前の 5 橋) ・大手橋 ・姫川橋 ・親沢橋 ・昭和橋 ・栄橋	長野県木曾福島町 長野県小谷村 長野県小谷村 長野県坂城町 長野県佐久町	昭和 11 年 昭和 12 年 昭和 12 年 昭和 12 年 昭和 13 年
関西地区	南郷洗堰 (淀川改良事業の要として造られた戦前最大の煉瓦可動堰) 旧神戸外国人居留地下水渠 (外国人居留地特有の卵形煉瓦下水渠が視認できる形で保存・展示)	滋賀県大津市 兵庫県神戸市	明治 37 年 明治 5 年
中国地区	三滝ダム (保存状態の良好な稀少なバットレスダムの一つ) 神龍橋一元・紅葉橋一 (道路用の単純トラスとしては戦前の最長スパン)	鳥取県智頭町 広島県神石町・東城町	昭和 12 年 昭和 5 年
四国地区	田丸橋 (愛媛特有の屋根付き生活橋の代表的存在) 大橋ダム (戦前では全国 4 番目、四国では飛び抜けて高いダム)	愛媛県内子町 高知県本川村	昭和 18 年 昭和 15 年

西部地区	<p>明正井路一号幹線一号橋 (大正期に建設されたわが国最大規模の水路用石造アーチ橋)</p> <p>美々津橋 (九州で唯一残存する上路スパンドレル・ブレスト・アーチ橋)</p>	<p>大分県竹田市</p> <p>宮崎県日向市</p>	<p>大正8年</p> <p>昭和9年</p>
平成15年度	遺産名	所在地	竣工年
北海道地区	<p>稚内港北防波堤ドーム (海陸の連絡を波飛沫から防護する類例のない設計であり、原形保存復元に徹した復元と補修で次代へと受け継がれるドーム型有覆防波堤)</p> <p>狩勝峠鉄道施設群 (根室本線の開通時に建造された鉄道施設遺構群。山裾に沿ったS字曲線の大型築堤、隧道、橋梁からなり、北海道の東西連絡と拓殖に寄与した)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大築堤群 ・新内隧道 ・小笹川橋梁 	<p>北海道稚内市</p> <p>北海道新得町</p> <p>北海道新得町</p> <p>北海道新得町</p>	<p>昭和11年</p> <p>／同55年</p> <p>明治40年</p> <p>明治40年</p> <p>明治40年</p>
東北地区	<p>上郷温水路群 (鳥海山からの融雪水による冷水害対策として、水路幅を広く、水深を浅くし、落落工を連続させた日本で初めての温水路である)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡温水路 ・大森温水路 ・水岡温水路 ・小滝温水路 ・象潟温水路 <p>最上橋 (最上川に架かる最上橋は、3連の美しいリブアーチ橋の姿、調和のとれたバルコニーと高欄が歴史を物語る貴重なる土木遺産である)</p>	<p>秋田県象潟町</p> <p>秋田県象潟町</p> <p>秋田県象潟町</p> <p>秋田県象潟町</p> <p>秋田県象潟町</p> <p>山形県寒河江市・大江町</p>	<p>昭和2年</p> <p>昭和4年</p> <p>昭和12年</p> <p>昭和18年</p> <p>昭和25年</p> <p>昭和15年</p>
関東地区	<p>関宿水閘門 (利根川改修事業のシンボリック的存在で、数少ない現役の大型水門(8門)と、船の航行のための閘門)</p> <p>千葉県水道局千葉高架水槽</p>	<p>茨城県猿島郡・五霞町</p> <p>千葉県千葉市</p>	<p>昭和2年</p> <p>昭和12年</p>

	<p>(多角形(正12角形)の配水塔は稀であり、屋根は円錐、踊り揚がコーニス風に突出したデザイン)</p> <p>御勅使川堰堤群</p> <p>(大正期の砂防堰堤で、当時最大級の高さ、大きさ、及び美しさを持つ、最初期の練積堰堤群)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源堰堤 ・藤尾堰堤 ・芦安堰堤 	<p>山梨県南アルプス市</p> <p>山梨県南アルプス市</p> <p>山梨県南アルプス市</p>	<p>大正9年</p> <p>大正11年</p> <p>大正5年</p> <p>／同15年改修</p>
中部地区	<p>大井川橋</p> <p>(橋長1026.4m, 17径間のトラス橋で、上下部工ともに当初の優れた姿をよく残し、戦前では同形式として最大級の道路橋)</p> <p>鬼ヶ城歩道トンネルー木本隧道ー</p> <p>(尾鷲地方の煉瓦トンネル群の一つで、よく整えられたデザインの抗門を備えた、大正期最長の道路用煉瓦トンネル)</p>	<p>静岡県島田市・金谷町</p> <p>三重県熊野市</p>	<p>昭和3年</p> <p>大正14年</p>
関西地区	<p>柳ヶ瀬隧道</p> <p>(明治17年完成当時日本最長(1352m)で、黎明期の技術進歩に大きく貢献した。今も使用中では2番目に古いトンネルである)</p> <p>友ヶ島砲台群</p> <p>(フランス式布陣の5箇所砲台から成り、発電施設など当時の最端科学技術の粋を結集し、それを今に伝える貴重な文化財である)</p>	<p>福井県敦賀市、滋賀県伊香郡・余呉町</p> <p>和歌山県和歌山市</p>	<p>明治17年</p> <p>明治25年</p> <p>(第3砲台)</p> <p>明治31年</p> <p>(第2砲台)</p>
中国地区	<p>東西用水酒津樋門</p> <p>(大正13年に完成し、取水樋門・南配水樋門・北配水樋門からなり、現存し今も活用されている水門としては国内最大級のもの)</p> <p>千本堰堤</p> <p>(大正7年に竣工した山陰初の近代水道施設であり、外観は御影石で覆われた重厚な雄姿を持ち、今も活用されているもの)</p>	<p>岡山県倉敷市</p> <p>島根県松江市</p>	<p>大正13年</p> <p>大正7年</p>

四国地区	木島灯台 (総御影石造り無塗装の灯台は、完成から 100 年を越えた今も、備讃瀬戸を航行する船舶の安全を見守っている)	香川県高松市	明治 28 年
西部地区	出島橋 (米国から輸入されたトラス橋で、わが国で供用中の鉄製橋梁の中で最も古く、重要な近代化遺産) 東与賀地区大搦堤防 東与賀地区授産社搦堤防 (明治期前半に築かれた最大規模の有明干拓堤防で、現在も道路や二線描堤として機能するとともに、石積みの景観がすばらしい) 鹿児島港旧石積防波堤 (水族館と一体化して整備され、市民の憩いの場所として保存活用されている大規模で美しい曲面を持つ巻石防波堤)	長崎県長崎市 佐賀県／東与賀町 佐賀県／東与賀町 鹿児島県鹿児島市	明治 23 年 明治 4 年 明治中期 明治 38 年
平成 16 年度	遺産名	所在地	竣工年
北海道地区	函館港改良施設群 船入潤防波堤 第 1 号乾ドック 北海道港湾修築の嚆矢的構造群で最初期の港湾コンクリート。広井勇設計のコンクリートブロック基礎の船入潤防波堤やコンクリートブロック造乾ドック 十勝川千代田堰堤 国内有数の農業王国十勝の礎となり、十勝川治水開閉關期の歴史を伝える大規模固定堰	北海道・函館市 北海道・函館市 北海道・池田町	明治 32 年 明治 36 年 昭和 10 年
東北地区	北上川分流施設群 鵜波締切提洗 鵜波洗堰 脇谷洗堰・閘門 脇谷水門・放水路 福地水門 釜谷水門 月浜第一水門	宮城県・豊里町・津山町 宮城県・豊里町 宮城県・津山町 宮城県・津山町 宮城県・河北町 河北町 北上町	昭和 6 年 昭和 7 年 昭和 7 年 昭和 6 年 昭和 5 年 昭和 3 年 昭和 3 年

	<p>月浜第二水門</p> <p>戦前の大規模分水事業、北上川第一期改修工事にて建設された施設。我が国の分水堰技術の黎明記に選定された希少なゲート形式群</p>	北上町	昭和3年
	<p>野辺地防雪源林</p> <p>日本鉄道(株)の防雪対策として植栽された、我が国最初の防雪林。自然資源の有効利用による希少な土木遺産である。</p>	青森県・野辺地	明治26年
	<p>十網橋</p> <p>飯坂温泉街の中心地に位置し、ブレーストリブアーチが美しい現存する最古級の大正期の鋼アーチ橋。歴史を物語る貴重な土木遺産である。</p>	福島県・福島市	大正4年
関東地区	<p>榛名山麓砂防堰堤群</p> <p>明治初期にデ・レイケの指導を受けた技術者によって造られた砂防堰堤群。自然石を用いたアーチ形状と、天端の縄たるみ形状が美しい。</p>	群馬県・伊香保町・榛東村・吉岡町・箕郷町	明治15年～35年
	<p>柳原水閘</p> <p>明治期の造られた樋門で、4連アーチの大規模な煉瓦造りは美しく、数少ない貴重な構造物</p>	千葉県・松戸市	明治37年
	<p>聖徳記念絵画館前通り</p> <p>東京を代表する道路景観であり、ワービット工法を利用した我が国最古級の車道用アスファルト舗装</p>	東京都・新宿区	大正15年
中部地区	<p>甚之助谷砂防堰堤群</p> <p>近代以降荒廃の著しい白山から下流域を守りつづけたる、日本で最古級の階段式砂防堰堤群</p>	石川県・白峰村	昭和6年～14年
関西地区	<p>三国港エッセル堤</p> <p>設計エッセル、施工デ・レーケによる粗朶沈床工の防波堤で、水制とともに導流機能も果たした明治初期を代表する港湾施設である。</p>	福井県・三国町	明治15年
	<p>梅小路機関車庫</p> <p>大正3年設置以来、日本の近代化と復興・成長を支えて蒸気機関車の歴史を伝え、動態保存された世界最大級の蒸気機関車庫である。</p>	京都府・京都市	大正3年
	<p>オランダ堰堤</p> <p>明治15年デ・レーケ指導、田邊義三郎設計とされる切石布積みアーチ式堰堤。関西治水史上重要な淀川水源地田</p>	滋賀県・大津市	明治22年

	上砂防施設群の一つ。		
中国地区	<p>若桜橋</p> <p>鬼ヶ城の山々に映える3連の美しいブールト・アーチ橋</p>	鳥取県・若桜町	昭和9年
	<p>牛島 藤田・西崎の波止</p> <p>利用者により結成された協同組合の自主施工で、昭和初期まで組合が運営。牛島独特の個人持ちの波止場一帯はよく保存されている。</p>	山口県・光市	明治20年頃
四国地区	<p>第二嶺地橋梁</p> <p>本橋は日本初の鉄道用5径間連続RC開腹アーチ橋だ。太平洋に面する断崖に、大スパンのアーチが力強く架かっている。</p>	高知県・須崎市	昭和13年
西部地区	<p>名島橋(名島橋及び名島川橋梁)</p> <p>名島橋は、耐震性に優れたアーチ式構造。白く輝く御影石に覆われた優美な姿。名島川橋梁は、大正期の長大RCアーチ橋。アーチを強調する突起等、秀逸な意匠。</p>	福岡県・福岡市	昭和8年 大正12年
	<p>山の田浄水場群</p> <p>佐世保市の水需要を支えてきた施設。敷地内にある様々な構造物は明治期、大正期の建物の様式を残しており、意匠的な工夫が見られる。</p>	長崎県・佐世保市	明治41年 大正15年